一宮海岸の地形変化の メカニズムについて

- 1.九十九里浜の地形変遷
- 2.一宮川~太東漁港 地形変化
- 3.太東漁港周辺と一宮海岸
- 4.現地の状況
- 5.太東漁港の防波堤の建設経緯
- 6.汀線変化
- 7.一宮海岸地形変化のまとめ



1

2.一宫川~太東漁港 地形变化

太東崎から土砂が供給

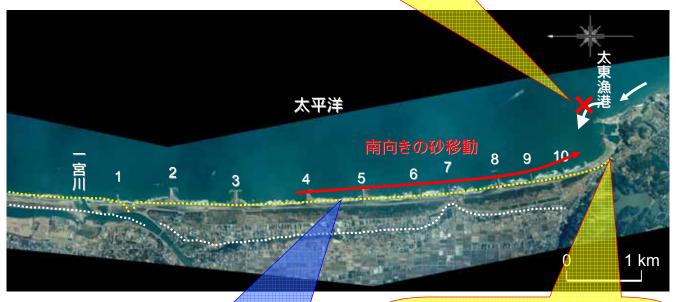


一宮海岸(1947年)

2

2.一宫川~太東漁港 地形变化

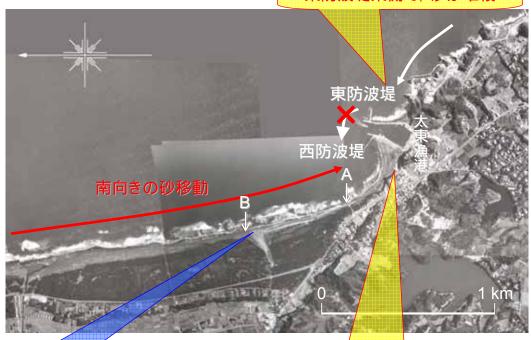
1976年に消波堤建設、1983年に漁港南防波堤延伸により土砂供給が減少



太東漁港防波堤による波の遮蔽域内へ 砂が移動、1947年より平均70m汀線後退 防波堤による波の遮蔽域形成により 砂が堆積し、1947年より最大140m の汀線前進

3.太東漁港周辺と一宮海岸(1980年)

東防波堤東側で、砂が堆積



1947年と比較し、平均 30m海岸線後退

西防波堤背後で、砂が堆積

F

3.太東漁港周辺と一宮海岸(2010年)

南防波堤東側で、砂が堆積



1980年:侵食域 2010年:堆積域 (A、B点)

西防波堤背後で、砂がさらに堆積

太東漁港周辺と一宮海岸(2010年)

4. 現地の状況

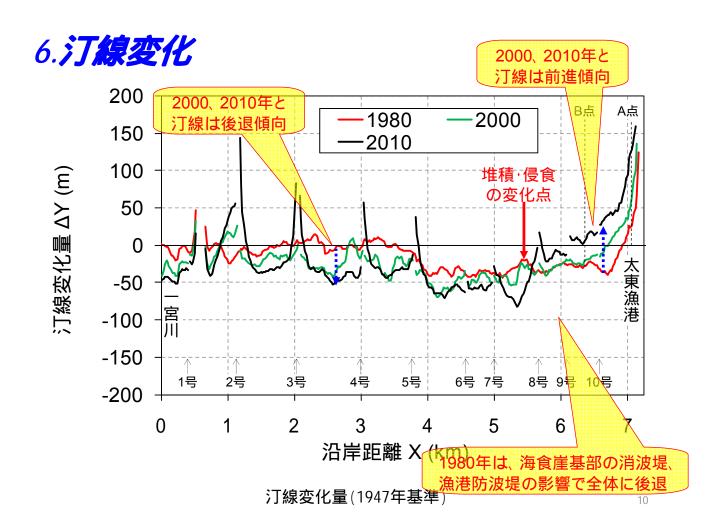
太東海水浴場を北側に望む



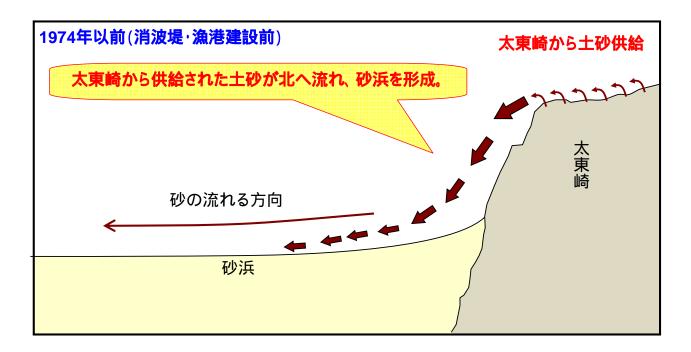
背後の護岸上から8号堤を望む

5.太東漁港の防波堤の建設経緯

年	構造物名称	工事延長 (m)		
1974		15.0	新設	第2南防砂堤
1975	第1西防波堤	56.0		南防砂堤 南防波堤 1983年建設開始 第2東防波堤→
1976		19.0	延長計 91m	
1976	第2西防波堤	8.5	新設	
1977		67.0		
1978		24.5	延長計 100m	
	- - 東防波堤 -	68.5	既設	
1974		50.0	延伸	
1975		12.0		
1976		12.0	延長計 142.5m	
1982	第2東防波堤	77.0	新設	東防波堤→ 1974年建設開始 □
1987		35.0	延長計 112m	
1983	- - 南防波堤 -	65.0	新設	1974年建設開始
1984		30.5		第1西防波堤→
1985		40.0		
1986		70.0		
1987		39.5		
1989		32.2		第2西防波堤
1990		45.6		
1991		12.2	延長計 335m	
1992	南防砂堤	25.0	新設	
2004	第2南防砂提	26.5	新設	
2005		13.0	延長計 39.5m	THE LANGUAGE STATE OF THE STATE

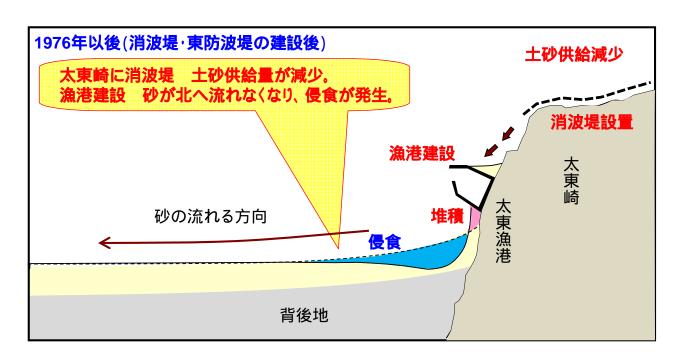


7.一宮海岸地形変化のまとめ



11

7.一宮海岸地形変化のまとめ



7.一宮海岸地形変化のまとめ

